

子宮頸がん について知ってください



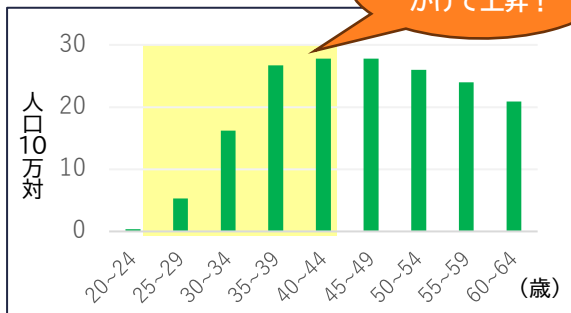
「子宮頸がん」ってどんな病気？

子宮頸がんは、子宮の入り口である子宮頸部の表面の細胞にがんができる病気です。

最近、20歳代の若い方で増加傾向にあり、将来の結婚・出産を控え要注意な病気ですが、**がん検診で早期に発見すれば、治る病気**になりつつあります。

子宮頸がんの罹患率

20~40代にかけて上昇！



出典:国立がん研究センター がん情報サービス「がん統計2019」

原因は？



ヒトパピローマウイルス (HPV) の感染が関連しています。HPVの主な感染経路はほとんどが性交渉で、**誰でも感染する**可能性があります。

症状は？

初期には症状がほとんどなく、自覚症状があらわれる頃には、がんが進行している場合があります。

検診に行こう！

4月1日時点で偶数年齢の20歳以上の市民の方には、**2年に1度**、がん検診受診券をお送りしています。

20歳の女性には、**無料クーポン券**をお送りしています！
この機会に受診してみませんか？



- ① 電話で予約
- ② 検診実施機関へ行く
- ③ 問診



④ 細胞を採取、診察

がんが発生しやすい子宮の入り口（頸部）表面の細胞を検査用のブラシ等で取って調べます。がんになる前の細胞の異常も見つけることができます。

あれ？
痛くない！
あっという間に終わったな～😊



がん検診の結果は約1～3週間後に分かります。

- ◆ 異常なし：2年に1度は検診を受けましょう。
- ◆ 要精密検査：必ず医療機関で精密検査を受けましょう。

